

## 2025年度の事業報告について

### 会員数 (2026年3月31日時点)

- 正会員：25,822人 ※詳細は別添1

### 公1 臨床工学技士の学術技能の研鑽及び資質の向上を目的とした事業

#### 1) 公1.1 職業倫理の高揚に関する事業

- (1) 公1.1.1 臨床工学技士の職業倫理及び生命倫理の啓発
  - 会員が関係する不祥事案に対して調査を行い、量定を検討した。
  - 会員の処分等について、処分の程度を検討した。
- (2) 公1.1.2 医療機器の立会いに関する啓発
  - 医療機器の公正取引についてまとめた文書を会員らに配布した。
- (3) 公1.1.3 学術研究倫理の啓発

#### 2) 公1.2 日本臨床工学会の開催に関する事業

##### (1) 公1.2.1 「第35回日本臨床工学会」の開催

- 次のとおり、開催した。

メインテーマ	臨床工学の進歩と調和 ～Progress and Harmony for CE～
会期	2025年5月17日(土)～18日(日)
会場	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
学会長	一般社団法人大阪府臨床工学技士会 会長 小北 克也

##### (2) 公1.2.2 「第36回日本臨床工学会」の開催準備

- 開催に向け、一般社団法人福岡県臨床工学技士会との連携により準備を進めた。

メインテーマ	志の醸成 ～臨床工学を未来に紡ぐ～
会期	2026年5月16日(土)～17日(日)
会場	福岡国際会議場、マリンメッセB館
学会長	一般社団法人福岡県臨床工学技士会 大塚 紹

##### (3) 公1.2.3 「第37回日本臨床工学会」の開催準備

- 開催に向け、一般社団法人東京都臨床工学技士会との連携により準備を進めた。

メインテーマ	志臨床工学技士の未来への挑戦 ～carried out in conjunction～
会期	2027年5月8日(土)～9日(日)
会場	東京国際フォーラム
学会長	一般社団法人 東京都臨床工学技士会 岡本 裕美

##### (4) 公1.2.4 日本臨床工学会の充実および安定的な実施に向けた検討

- 第37回日本臨床工学会以降の3回の開催について運営を委託する会社を選定した。
- 第39回日本臨床工学会について、開催者について公募を行うよう準備を進めている。

### 3) 公 1.3 検定に関する指定講習会及び検定試験に関する事業

#### (1) 公 1.3.1 専門臨床工学検定試験の実施

- ・ 指定講習は別紙 1 のとおり。
- ・ 対象：専門呼吸治療臨床工学技士  
専門血液浄化臨床工学技士  
専門手術臨床工学技士  
専門不整脈治療臨床工学技士  
専門心・血管カテーテル臨床工学技士  
専門高気圧酸素治療臨床工学技士  
専門内視鏡臨床工学技士

#### (2) 公 1.3.2 認定臨床工学検定試験の実施

- ・ 指定講習は別紙 1 のとおり。
- ・ 対象：認定血液浄化臨床工学技士  
認定手術臨床工学技士  
認定集中治療臨床工学技士  
認定医療機器管理臨床工学技士  
認定医療安全臨床工学技士

### 4) 公 1.4 臨床工学技士業務の追加に関する事業

#### (1) 公 1.4.1 業務拡大に向けた実施体制等の検討

- ・ 改正臨床工学技士法の施行により実施可能となる業務および従来からの制度において実施可能な業務の推進について、関係学会等と協議した。

#### (2) 公 1.4.2 業務範囲の追加に対する厚生労働大臣指定研修会の実施

- ・ 「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」を開催しており、2026 年 3 月末時点の修了者は 26,193 人となった。（別紙 2）

### 5) 公 1.5 臨床工学技士の生涯教育に関する事業

#### (1) 公 1.5.1 キャリアアップのため研修の実施

- ・ 別紙 1 のとおり。
- ・ 入会オリエンテーションと臨床工学技士基礎研修を継続している。

#### (2) 公 1.5.2 災害対策のための研修の実施

- ・ 会員等を対象とした研修会を開催した。

#### (3) 公 1.5.3 学術研究の進め方に関する研修の実施

- ・ 同上。

#### (4) 公 1.5.4 生涯教育の充実及びキャリアラダーの作成に向けた検討

- ・ 生涯教育制度の充実に向けて、研修のコンテンツをさらなる充実に取り組んでいるところ。

### 6) 公 1.6 臨床工学技士の卒前教育に関する事業

#### (1) 公 1.6.1 (一社)日本臨床工学技士教育施設協議会との連携

- ・ 2023 年 4 月に開始となった新カリキュラムについて、情報収集等を行った。

#### (2) 公 1.6.2 臨床工学技士カリキュラム改善の対応に向けた検討

- ・ 次回の改正に向けて、日本臨床工学技士教育施設協議会とともに課題要点を整理した。

#### (3) 公 1.6.3 日本臨床工学技士の卒前教育に関する研修の実施

- ・ 別紙 1 のとおり。

- (4) 公 1.6.4 臨床工学技士臨床実習指導者講習会の実施・さらなる充実に向けた検討
- ・厚生労働省認可研修会を開催しているところ。(別紙 1)

## 7) 公 1.7 臨床工学技士の資質向上につなげる事業

- (1) 公 1.7.1 臨床工学技士の職能に関する啓発の実施
- (2) 公 1.7.2 都道府県臨床工学技士会等との連携の強化
- ・第 35 回日本臨床工学会に併せて第 20 回全国都道府県技士会代表者会議を開催した。
  - ・2025 年 12 月 16 日に、CAC : Cooperate with All Ces を開催した。
  - ・2026 年 2 月 9 日に、臨床工学技士会組織強化情報交換会を開催した。
  - ・2026 年 2 月 5 日・15 日に、グループワークで深める我々の職能の研修を行った。
  - ・代議員や理事の役割等について、取りまとめた。
- (3) 公 1.7.3 男女共同参画等の推進
- ・女性活躍の推進について、具体の活動を検討した。
  - ・ワークライフバランスについて、具体の活動を検討した。
- (4) 公 1.7.4 若手人材の積極的な活用
- 2025 年 11 月 28 日に、AGM : All Generation Meetings を開催した。

## 公 2 臨床工学領域における安全対策に関する事業

---

### 1) 公 2.1 医療機器安全使用のための研修に関する事業

- (1) 公 2.1.1 医療機器安全管理に関する研修の実施
- ・医療機器サイバーセキュリティに対応するための ICT 人材の育成を目的として国家資格取得に対する奨励金制度を実施した。
  - ・資格取得の促進に向けて、さらなる周知を行った。
  - ・医療機関における医療機器サイバーセキュリティへの取り組みについて、会員を対象としたアンケート調査等を実施した。
- (2) 公 2.1.2 血液浄化等に関する研修の実施
- ・別紙 1 のとおり。
  - ・研修の内容：透析液安全管理基礎研修
    - バスキュラーアクセス管理研修
    - 医療機器安全管理責任者研修
    - 医療機器安全管理研修
    - 腹膜透析業務基礎研修
    - 集中治療業務基礎研修
    - 新生児集中治療業務基礎研修
    - 心・血管カテーテル業務基礎研修
    - 高気圧酸素治療業務基礎研修
    - 内視鏡業務基礎研修

### 2) 公 2.2 医療機器の安全確保に関する普及啓発事業

- (1) 公 2.2.1 医療機器の安全管理に係る指針等の普及啓発
- ・医療機器安全管理に関する指針の改訂について、作業を進めているところ。
  - ・医療機器のサイバーセキュリティ対策について、透析施設における取り組みに関する調査を行った。
  - ・臨床工学技士のための医療安全に関する書籍の出版に向けて、検討を行った。

- (2) 公 2.2.2 医療安全全国共同行動との連携
  - ・医療機器に関する安全確保に関して、委員等を派遣した。
- (3) 公 2.2.3 医療機器の安全確保に関する行政機関等への協力
  - ・厚生労働省および(独)医薬品医療機器総合機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・(公社)日本医療機能評価機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・(公社)医療安全調査機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・総務省および電波環境協議会の委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・(一社)流通システム開発センターの委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・(公財)医療機器センターの委員会や検討会に委員等を派遣した。
  - ・(一財)医療関連サービス振興会の委員会や検討会に委員等を派遣した。

### 3) 公 2.3 災害時の支援に関する事業

- (1) 公 2.3.1 災害発生時の情報収集
- (2) 公 2.3.2 災害に対する支援
  - ・JHAT<sup>1</sup>の構成団体として、支援のあり方を検討した。

## 公 3.1 臨床工学に関する普及啓発事業

---

### 1) 公 3.1 臨床工学に関する普及啓発事業

- (1) 公 3.1.1 日臨エビジョンを用いた臨床工学の認知度向上
  - ・日臨エミッション・バリュー・ビジョンについて、周知を行った。
- (2) 公 3.1.2 マスコットキャラクター等を活用した臨床工学の認知度向上
  - ・シープリンを活用した臨床工学技士の認知度について、検討した。
  - ・当会と都道府県臨床工学技士会との連携強化を図るべく、ご当地シープリンを作成・公表した。
- (3) 公 3.1.3 都道府県臨床工学技士会との連携による臨床工学の普及啓発
  - ・臨床工学技士に関する冊子等を作成して、都道府県臨床工学技士会に提供した。
  - ・各種の情報共有等、連携を図った。
- (4) 公 3.1.4 臨床工学技士関連団体との連携による臨床工学の普及啓発
- (5) 公 3.1.5 各種イベントによる臨床工学の普及啓発
  - ・2023年度のCEの日に合わせて、略称：CEの統一に向けた働きかけを行った。
  - ・「臨床工学(CE)の日」に関連した全国におけるイベントを実施した。
  - ・「第12回こころにジーンとくるエンジニアのはなし」を募集し、最優秀賞等を決定した。
- (6) 公 3.1.6 Webサイト及び情報提供システムの拡充
  - ・会員等の利便性向上に向けて、改修を行っているところ。
  - ・システム改修を行い、入会手続きの電子化を電子化した。

### 2) 公 3.2 臨床工学の技術の普及啓発事業

- (1) 公 3.2.1 職能団体との連携による臨床工学の普及啓発
  - ・後援や講師派遣等を行った。
- (2) 公 3.2.2 学術団体との連携による臨床工学の普及啓発
  - ・同上。
- (3) 公 3.2.3 関係団体との連携による医工連携における臨床工学の普及啓発
  - ・経済産業省・地方経産局や各種団体等と連携し、医工連携の取り組みを推進した。

<sup>1</sup> JHAT：日本災害時透析医療協働支援チーム Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster

- 2025年度医工連携アワードを募集し、受賞製品を選定した。
- (4) 公 3.2.4 臨床工学技士の職業紹介に係る情報の提供
- おしごと年鑑 2025 (朝日新聞社) に臨床工学技士の紹介記事を掲載した。
  - リーフレット等を活用して、一般向けに臨床工学技士の知名度向上に活用しているところ。(別紙 3)
  - 全国の小中学校において授業に活用されているところ。
  - 東京都内および千葉県内の小学校において、出前授業を行った。
  - 2025年8月、こども霞が関見学デーに参加し、臨床工学技士のPRを行った。
  - チーム医療推進協議会主催による高校生に対して、臨床工学技士の業務紹介を行った。
  - 幼児を対象とした臨床工学技士の周知に向けて、絵本の印刷に向けて準備を進めているところ。
  -
- (5) 公 3.2.5 診療報酬等による臨床工学技士業務の評価に向けた取り組み
- 2026年度の診療報酬改訂に対して、関係各所と情報共有等を行った。

### 3) 公 3.3 臨床工学技士業務指針の啓発に関する事業

- (1) 公 3.3.1 臨床工学技士基本業務指針の改訂および公表
- 追加となる業務範囲を含めた基本業務指針の作成について、検討した。
  - バスキュラーアクセス管理指針の改訂について、取りまとめた。
  - 日本麻酔科学会の「臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」の作成に参画した。指針は、2025年5月に公表された。
- (2) 公 3.3.2 NICU 及び PICU、救急部門への参画促進に向けた検討
- 当該領域業務の推進について、検討しているところ。
- (3) 公 3.3.3 在宅医療への参画促進に向けた検討
- 当該領域業務の推進について、検討しているところ。

### 4) 公 3.4 臨床工学技士業務実態の調査事業

- (1) 公 3.4.1 会員からの実態報告の実施
- 業務実態報告 2025 を実施した。回答数：13,333 件、回答率：50.5% (昨年比-1.4%)
  - これまでの業務実態報告について、ブロック臨床工学会等において発表を行い、会員らと調査結果を共有した。
- (2) 公 3.4.2 医療機関に対する調査の実施
- 実施の必要性について検討しているところ。
- (3) 公 3.4.3 各種調査の一元化
- 報告データ等を整理・保管した。

### 5) 公 3.5 国際活動に関する事業

- (1) 公 3.5.1 国際会議等への派遣
- WHO<sup>2</sup>、ISO<sup>3</sup>、IEC<sup>4</sup>、JIMTEF<sup>5</sup>について、会議等に参加した。
- (2) 公 3.5.2 国際学会等への参加、情報提供及び収集
- IFMBE<sup>6</sup>や GCEA<sup>7</sup>の会議等に出席した。

<sup>2</sup> WHO：世界保健機構 World Health Organization

<sup>3</sup> ISO：国際標準化機構 International Organization for Standardization

<sup>4</sup> IEC：国際電気標準会議 International Electrotechnical Commission

<sup>5</sup> JIMTEF：公益財団法人日本医療技術財団 Japan International Medical TEchnology Foundation

<sup>6</sup> IFMBE：International Federation for Medical and Biological Engineering

<sup>7</sup> GCEA：Global Clinical Engineering Alliance

- ツアーを開催し、AAMI<sup>8</sup>の年次大会「AAMI eXchange 2025 (2025年6月、ニューオリンズ/米国)」の参加とともに病院見学を行った。
- (3) 公3.5.3 JICAのボランティアに対する支援
- 情報を取りまとめ、当会WEBサイトに掲載した。
- (4) 公3.5.4 中国及びアジア圏における透析技術に関する交流
- 情報収集等を行った。

## 他1 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

---

### 1) 他1.1 学術研究の助成に関する事業

- (1) 他1.1.1 地域における臨床工学の学術振興
- 講師派遣等を行った。
- (2) 他1.1.2 学術研究・論文の助成の検討
- 投稿論文を受付け、査読を経て、当会の会誌に掲載を行った。(2026年3月31日時点の投稿数は24本、うち英文は2本)
  - Blood Purification 誌、Journal of Clinical Medicine 誌への投稿論文を受付けた。

### 2) 他1.2 専門・認定臨床工学技士の認定における事業 (別紙4)

- (1) 他1.2.1 専門臨床工学技士の認定
- 認定領域：専門呼吸治療臨床工学技士  
専門血液浄化臨床工学技士  
専門手術臨床工学技士  
専門不整脈治療臨床工学技士  
専門心・血管カテーテル臨床工学技士  
専門高気圧酸素治療臨床工学技士  
専門内視鏡臨床工学技士
- (2) 他1.2.2 認定臨床工学技士の認定
- 認定領域：認定血液浄化臨床工学技士  
認定手術臨床工学技士  
認定集中治療臨床工学技士  
認定医療機器管理臨床工学技士  
認定医療安全臨床工学技士
- (3) 他1.2.3 専門・認定臨床工学技士制度の充実に向けた検討
- 指定講習の内容充実および検定試験の質向上を図っているところ。
  - 併せて、委員、講師および策問者等の負担軽減に取り組んでいるところ。

## 他2 相互福祉に関する事業

---

### 1) 他2.1 賠償責任保険に関する事業

- 加入者数：22,148名 / 加入率：85.1% (2026年4月3日時点)

<sup>8</sup> AAMI：米国医療機器振興協会 Association for the Advancement of Medical Instrumentation

## 2) 他 2.2 団体総合保険に関する事業 (あんしんくん)

- 加入者数 : 289 名 / 加入率 : 1.1% (2026 年 4 月 3 日時点)

## 他 3 図書、印刷物の刊行に関する事業

---

### 1) 他 3.1 機関新聞「たより」の定期発行业

#### (1) 他 3.1.1 たより 191~196 号の刊行

- 191 号 2025 年 5 月 1 日
- 192 号 2025 年 7 月 1 日
- 193 号 2025 年 9 月 1 日
- 194 号 2025 年 11 月 1 日
- 195 号 2026 年 1 月 1 日
- 196 号 2026 年 3 月 1 日

#### (2) 他 3.1.2 たよりのさらなる充実に向けた検討

- コンテンツの充実について、検討した。

### 2) 他 3.2 会誌の定期発行业

#### (1) 他 3.2.1 会誌 86~89 号の刊行

- No.86 2025 年 4 月
- No.87 2025 年 9 月
- No.88 2025 年 12 月
- No.89 2026 年 3 月

#### (2) 他 3.2.2 会誌のさらなる充実に向けた検討

- 会誌 86 号から電子書籍にて刊行を開始した。
- 過去の会誌についても、順次、電子書籍化の作業を進めている。
- 現在、J-STAGE への掲載に向けた手続きを行った。

以上

## 別紙1\_2025FY講習・研修

2026年3月31日時点

指定講習・研修等	開催日程		申込者 (人)	修了者 (人)	修了率	本年度		2024年度	
	開始	終了				申込者 (人)	修了者 (人)	総申込者	総申込者 前年度比
呼吸治療指定講習	7月	7/2/2025 ~ 7/31/2025	58	55	94.8%	106	90	1.18	
呼吸治療指定講習	9月	9/1/2025 ~ 9/30/2025	48	46	95.8%				
血液浄化指定講習	9月	9/1/2025 ~ 9/30/2025	128	124	96.9%	200	196	1.02	
血液浄化指定講習	11月	10/30/2025 ~ 11/28/2025	72	68	94.4%				
手術指定講習	7月	7/2/2025 ~ 7/31/2025	31	30	96.8%	71	91	0.78	
手術指定講習	11月	10/2/2025 ~ 10/31/2025	40	37	92.5%				
不整脈治療指定講習	7月	7/7/2025 ~ 8/20/2025	63	62	98.4%	122	119	1.03	
不整脈治療指定講習	9月	9/1/2025 ~ 10/15/2025	59	57	96.6%				
心・血管力于一子ル指定講習	8月	7/31/2025 ~ 8/29/2025	50	49	98.0%	75	73	1.03	
心・血管力于一子ル指定講習	10月	10/2/2025 ~ 10/31/2025	25	23	92.0%				
高気圧酸素治療指定講習	8月	7/31/2025 ~ 8/29/2025	7	7	100.0%	16	15	1.07	
高気圧酸素治療指定講習	10月	10/2/2025 ~ 10/31/2025	9	8	88.9%				
内視鏡指定講習	8月	7/31/2025 ~ 8/29/2025	24	24	100.0%	36	46	0.78	
内視鏡指定講習	11月	10/30/2025 ~ 11/28/2025	12	11	91.7%				
○指定講習(専門) 全体			626	601		626	630	0.99	

別紙1\_2025FY講習・研修

2026年3月31日時点

指定講習・研修等	開催日程		申込者	修了者	修了率	本年度 総申込者	2024年度 総申込者	総申込者 前年度比
名称	開催月	開始	終了	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
認定血液浄化指定講習	8月	7/31/2025	～ 8/29/2025	171	171	329	388	0.85
認定血液浄化指定講習	10月	10/2/2025	～ 10/31/2025	149	149	142	-	-
認定手術指定講習	9月	9/1/2025	～ 9/30/2025	88	88	142	-	-
認定手術指定講習	11月	10/2/2025	～ 10/31/2025	50	50	236	250	0.94
認定集中治療指定講習	8月	7/31/2025	～ 8/29/2025	128	128	236	250	0.94
認定集中治療指定講習	11月	10/30/2025	～ 11/28/2025	99	99	121	132	0.92
認定医療機器管理指定講習	7月	7/2/2025	～ 7/31/2025	64	64	121	132	0.92
認定医療機器管理指定講習	10月	10/2/2025	～ 10/31/2025	52	52	251	-	-
認定医療安全指定講習	9月	9/1/2025	～ 9/30/2025	190	190	251	-	-
認定医療安全指定講習	11月	10/2/2025	～ 10/31/2025	53	53	1,079	770	1.40
○指定講習(認定) 全体				1,044	1,044	1,079	770	1.40

## 別紙1\_2025FY講習・研修

2026年3月31日時点

指定講習・研修等	開催日程		申込者 修了者	修了率	本年度		2024年度		
	開催月	開始			終了	申込者 総申込者	修了者 総申込者	申込者 総申込者	修了率 総申込者
入会オリエンテーション	通年	4/1/2025	～	3/31/2026	1,039	748	1,039	1,568	0.66
臨床工学技士基礎研修	通年	4/1/2025	～	3/31/2026	1,124	312	1,124	1,657	0.68
キャリアアップ研修・中級	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	28	27	28	25	1.12
学術研究の進め方に関する研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	38	37	38	16	2.38
災害対策研修	12/7/2026	12/7/2025	～	12/7/2025	18	18	18	19	0.95
日本臨床工学技士教育研究会	1/10/2026	1/10/2025	～	1/10/2025	58	58	58	81	0.72
透析液安全管理基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	119	112	119	83	1.43
バスキュラーアクセス管理研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	78	72	78	48	1.63
医療機器安全管理責任者研修	10/19/2026	10/19/2025	～	10/10/2025	36	34	36	20	1.80
医療機器安全管理責任者研修	11/29/2026	11/29/2025	～	11/29/2025	63	61	63	52	1.21
医療機器安全管理研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	74	70	74	39	1.90
腹膜透析業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	36	29	36	37	0.97
集中治療業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	19	18	19	19	1.00
新生児集中治療業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	10	10	10	9	1.11
心・血管力テール業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	25	21	25	19	1.32
高気圧酸素治療業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	20	18	20	9	2.22
内視鏡業務基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	42	40	42	29	1.45
手術室・清潔野補助業務に必要な基礎研修	7月-2月	7/1/2025	～	2/27/2026	90	86	90	86	1.05
○研修 全体					2,917	1,771	2,917	3,816	0.76

別紙1\_2025FY講習・研修

2026年3月31日時点

指定講習・研修等	開催日程	申込者	修了者	修了率	本年度 総申込者	2024年度 総申込者	総申込者 前年度比
名称	開催月	開始	終了	(人)	(人)	(人)	(人)
災害医療概論講演会	オンデマンド	4/1/2025	5/18/2025	8	-	8	-
第2回呼吸療法Webセミナー	オンデマンド	6/19/2025	9/23/2025	30	-	30	-
臨床工学技士と医療DX・AI（基礎）	オンデマンド	6/21/2025	9/22/2025	71	-	71	-
当会におけるサイバーセキュリティ対策の取組について	6月-12月	6/26/2025	3/31/2026	121	-	121	-
透析施設における塩素ガス発生への対策セミナー	12/7/2026	10/22/2025	1/22/2026	239	-	239	-
第3回呼吸療法Webセミナー	11月-2月	11/13/2025	2/13/2026	46	-	46	-
2025年度（第1回）医療機器安全管理セミナー	オンデマンド	12/3/2025	3/7/2026	73	-	73	-
2025年度（第2回）医療機器安全管理セミナー	2/15/2026	1/11/2026	3/12/2026	45	-	45	-
心・血管カテーテルフォーラム Vol.3	2/27/2026	2/27/2026	2/27/2026	95	-	95	-
第8回ハイパーサーミアクリニカルフォーラム（ビギナー編）	3/5/2026	3/5/2026	3/5/2026	27	-	27	-
第1回 在宅人工呼吸器関連業務セミナー	オンデマンド	3/6/2026	6/6/2026	13	-	13	-
第1回 心・血管カテーテルセミナー	オンデマンド	3/14/2026	6/13/2026	57	-	57	-
○フォーラム等 全体				825		825	

別紙1\_2025FY講習・研修

臨床工学技士臨床実習指導者講習会			
	申込者	修了者	修了者
第24回 10/25/2025～10/26/2025	59	57	57
第25回 12/6/2025～12/7/2025	60	59	59
第26回 2/7/2026～2/8/2026	60	60	60
第27回 3/14/2026～3/15/2026	51	50	50
2025年度	230	226	226

# 臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修 2026年3月31日時点の受講状況



## 1. 受講登録の状況

○総数 28558人 [このうち 全課程を完了した者26193人 91.7%]

○勤務先の別

医療機関 28053人 98.2%  
その他 505人 1.8%

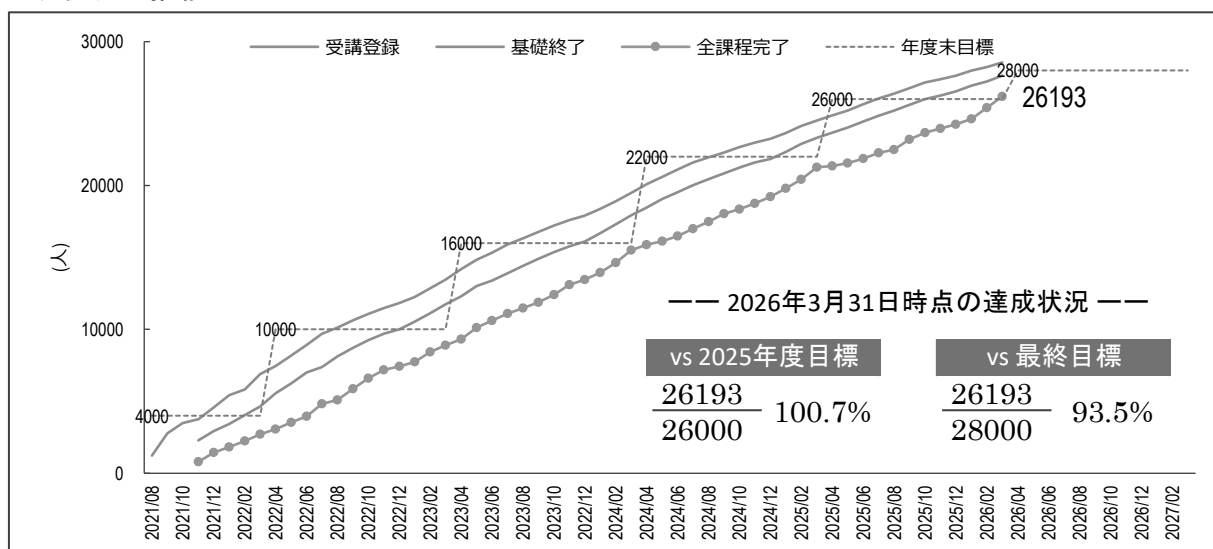
○会員／非会員の別

日臨工会員 22249人 77.9%  
非会員 6309人 22.1%

○年代の別

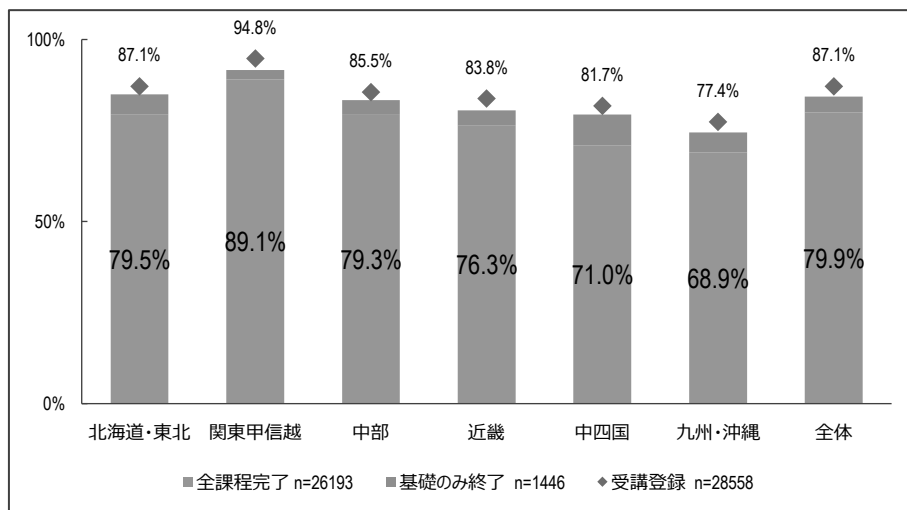
21-29歳 9410人 33.0%  
30-39歳 10155人 35.6%  
40-49歳 6533人 22.9%  
50-59歳 2130人 7.5%  
60歳+ 330人 1.2%

## 2. 達成状況の推移



## 3. ブロック別の医療機関従事者に対する受講者の割合

・都道府県：受講者が修了書送付先として登録された住所による  
・医療機関従事：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」による



医療機関従事(人)  
2023年厚生労働省調査より

北海道・東北	3935.1
関東甲信越	11285.2
中部	4178.3
近畿	5521.6
中四国	3627.5
九州・沖縄	4226.9
全体	32774.6

#### 4. 都道府県別の医療機関従事者に対する 受講者の割合

・都道府県：受講者が修了書送付先として登録された住所による  
・医療機関従事：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」による

都道府県	ブロック	受講登録	全課程完了	医療機関従事	都道府県の医療従事者に対する	
		(人)	(人)	(人) ※常勤換算	受講登録	全課程完了
北海道	北海道・東北	1557	1427	1936.7	80.4%	73.7%
青森県		182	174	202.2	90.0%	86.1%
岩手県		208	195	206.8	100.6%	94.3%
宮城県		584	522	616.8	94.7%	84.6%
秋田県		161	153	181.3	88.8%	84.4%
山形県		283	251	245.6	115.2%	102.2%
福島県		453	406	545.7	83.0%	74.4%
茨城県	関東甲信越	521	481	627.2	83.1%	76.7%
栃木県		376	345	476.1	79.0%	72.5%
群馬県		363	333	456.2	79.6%	73.0%
埼玉県		1908	1813	1785.7	106.8%	101.5%
千葉県		1618	1512	1563.1	103.5%	96.7%
東京都		2707	2561	3194.4	84.7%	80.2%
神奈川県		2130	1986	1957.8	108.8%	101.4%
山梨県		187	179	185.3	100.9%	96.6%
長野県		499	476	588.8	84.7%	80.8%
新潟県		386	364	450.6	85.7%	80.8%
静岡県	中部	803	756	922.6	87.0%	81.9%
愛知県		1522	1395	1762.1	86.4%	79.2%
岐阜県		379	338	480.8	78.8%	70.3%
三重県		385	363	437.4	88.0%	83.0%
富山県		159	149	198.7	80.0%	75.0%
石川県		196	189	231.3	84.7%	81.7%
福井県		130	122	145.4	89.4%	83.9%
滋賀県	近畿	334	302	317.7	105.1%	95.1%
京都府		769	673	912.3	84.3%	73.8%
大阪府		1949	1779	2302.9	84.6%	77.3%
兵庫県		1101	1016	1415.6	77.8%	71.8%
奈良県		321	303	384.6	83.5%	78.8%
和歌山県		152	142	188.5	80.6%	75.3%
鳥取県	中四国	121	108	138.0	87.7%	78.3%
島根県		149	139	156.5	95.2%	88.8%
岡山県		640	570	676.7	94.6%	84.2%
広島県		774	637	939.6	82.4%	67.8%
山口県		252	237	324.1	77.8%	73.1%
徳島県		155	142	283.6	54.7%	50.1%
香川県		274	249	328.6	83.4%	75.8%
高知県		226	151	352.0	64.2%	42.9%
愛媛県		374	341	428.4	87.3%	79.6%
福岡県		九州・沖縄	1134	999	1510.5	75.1%
佐賀県	120		102	183.4	65.4%	55.6%
長崎県	215		198	281.8	76.3%	70.3%
熊本県	574		503	694.4	82.7%	72.4%
大分県	305		271	418.9	72.8%	64.7%
宮崎県	140		127	160.7	87.1%	79.0%
鹿児島県	392		352	500.8	78.3%	70.3%
沖縄県	390		362	476.4	81.9%	76.0%
合計		28558	26193	32774.6	87.1%	79.9%

## PR資料の配布実績

別紙3

	2024年度				2025年度				
	都道府県	正会員	養成校	都道府県	正会員	養成校	都道府県	正会員	養成校
リーフレット	200	50	50	1,800	100	20			
日臨工入会案内									
CE紹介 *単品	5,200	540	2,700	8,900	1,030	2,000			
告示研修PR_シン・臨床工学技士	0	0	0	0	130	0			
おしごと年鑑別刷	4,800	460	1,500	8,700	970	1,400			
冊子	650	60	50	1,400	40	800			
DVD	8	13	68	2	7	4			
いのちのエンジニア —CLINICAL ENGINEER—									
いのちのエンジニア —CLINICAL ENGINEER— 英語版	1	4	3	0	2	2			
現代の医療をささえる医療機器と臨床工学技士さんのおはなし	6	7	7	—	—	—			
ノベルティ	0	0	50	0	0	0			
A4クリアファイル (CE PRIDE)									
A4クリアファイル (SDGs)	0	0	0	0	0	50			
A4クリアファイル (シーブリン多勢)	300	0	150	300	30	1,200			
A4クリアファイル (シーブリン×ストライプ)	100	0	100	250	20	600			
A3・二つ折りクリアファイル (ご当地シーブリン)	—	—	—	700	110	500			
A6サイズ メモ帳	50	0	0	200	0	100			
シールセット (ご当地シーブリン)	—	—	—	550	110	150			
合計	11,315	1,134	4,678	22,802	2,549	6,826			

\* 都道府県：都道府県臨床工学技士会

## PR 資材の活用状況

長崎県臨床工学技士会様

青少年のための科学の祭典 長崎大会

---

イベントには 1752 人が参加しました。「病院で使う医療機器を体験してみよう」と題して、電気メスの体験を通して臨床工学技士の PR を行いました。



日本臨床工学技士会 [協力：千葉県臨床工学技士会様]

出前授業（市野谷小学校 千葉県）

---

6 年生 34 人の児童が参加しました。校長先生をはじめとする先生がたが見学しました。血液透析について、実験を含む授業を行い、臨床工学技士をアピール。



日本臨床工学技士会 [協力：関東甲信越臨床工学技士協議会様、日機装株式会社様]

2025 年出前授業（筈小学校 東京都）

---

4 年生、33 人の児童が授業に参加しました。血液透析について、実験を含む授業を行い、臨床工学技士の仕事を紹介しました。



日本臨床工学技士会 [協力：関東甲信越臨床工学技士協議会様]

2025 年子ども霞が関見学デー（厚生労働省）

---

来場者約 1500 人に臨床工学技士の資料を配布しました。そのうち約 700 人が当会ブースへ訪れ、血液透析装置と臨床工学技士について紹介しました。スタッフと一緒に、館内に設置されている AED を点検しました。



別紙4\_2025FY専門・認定臨床工学技士

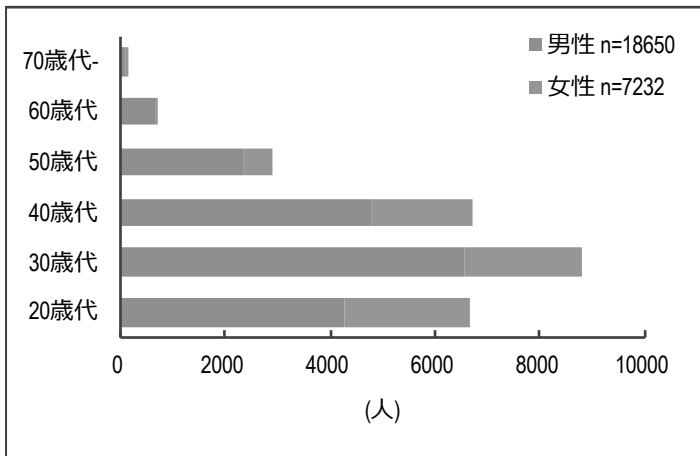
事業	名称	2026年3月31日時点					
		初 回		更 新			
		認定者 (人)	2024年度 認定者 (人)	初回認定者 前年度比	2024年度 認定者 (人)	更新者 前年度比	
他.1.2.1	専門呼吸治療臨床工学技士	23	21	1.10	19	12	1.58
	専門血液浄化臨床工学技士	38	23	1.65	75	30	2.50
	専門手術臨床工学技士	17	12	1.42	11	13	0.85
	専門不整脈治療臨床工学技士	29	30	0.97	68	23	2.96
	専門心・血管力于一元臨床工学技士	16	22	0.73	14	12	1.17
	専門高気圧酸素治療臨床工学技士	0	2	-	3	3	1.00
	専門内視鏡臨床工学技士	4	7	0.57	1	8	0.13
	○専門臨床工学技士 全体	127	117	1.09	191	101	1.89
	認定血液浄化臨床工学技士	231	170	1.36	110	212	0.52
	認定手術臨床工学技士	-	-	-	-	-	-
他.1.2.2	認定集中治療臨床工学技士	182	138	1.32	80	164	0.49
	認定医療機器管理臨床工学技士	86	79	1.09	92	66	1.39
	認定医療安全臨床工学技士	-	-	-	-	-	-
	○認定臨床工学技士 全体	499	387	1.29	282	442	0.64

## 会員の動向等 2026年3月31日時点

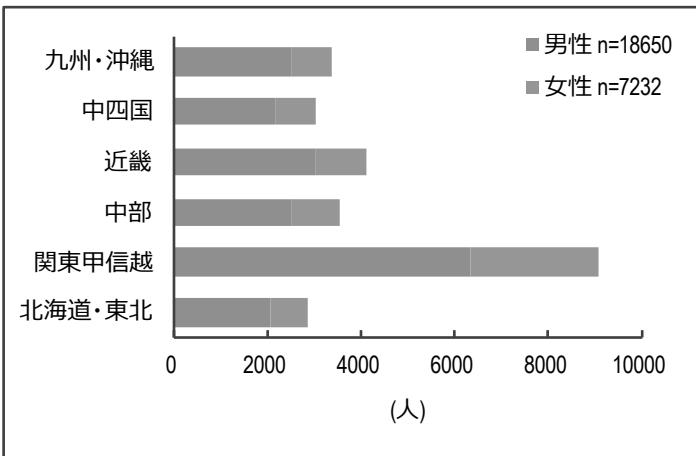
### 1. 正会員数

25882人 男性：18650人 72.1% 女性：7232人 27.9%

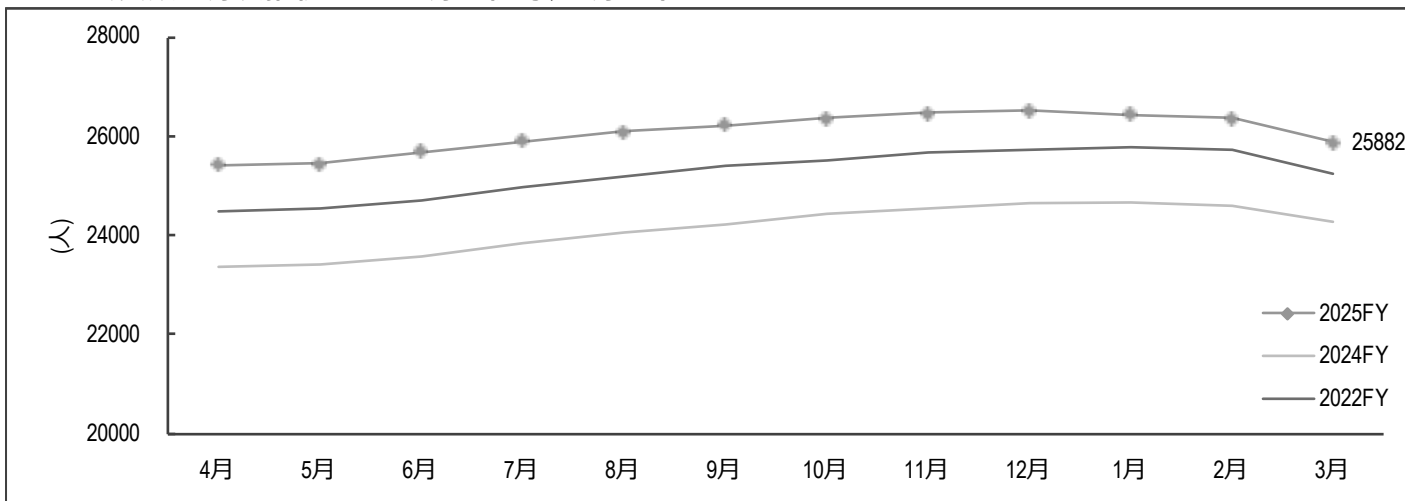
### 2. 正会員のブロック別・性別による分布



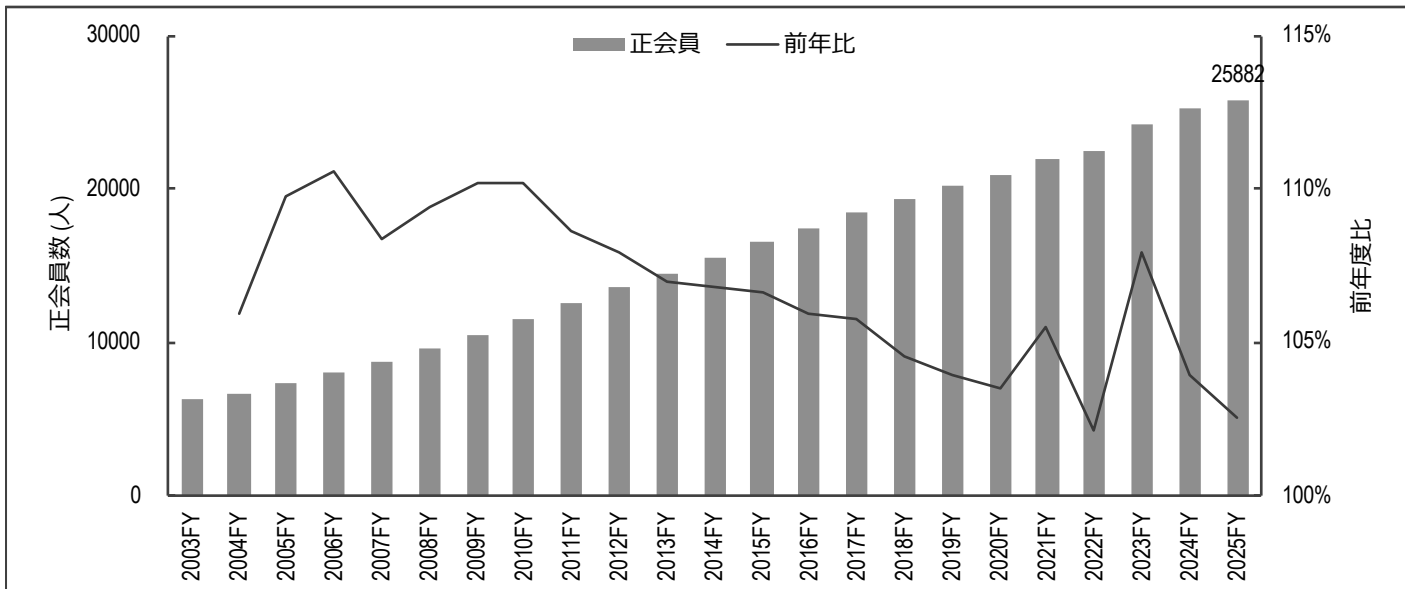
### 3. 年代別・性別による分布



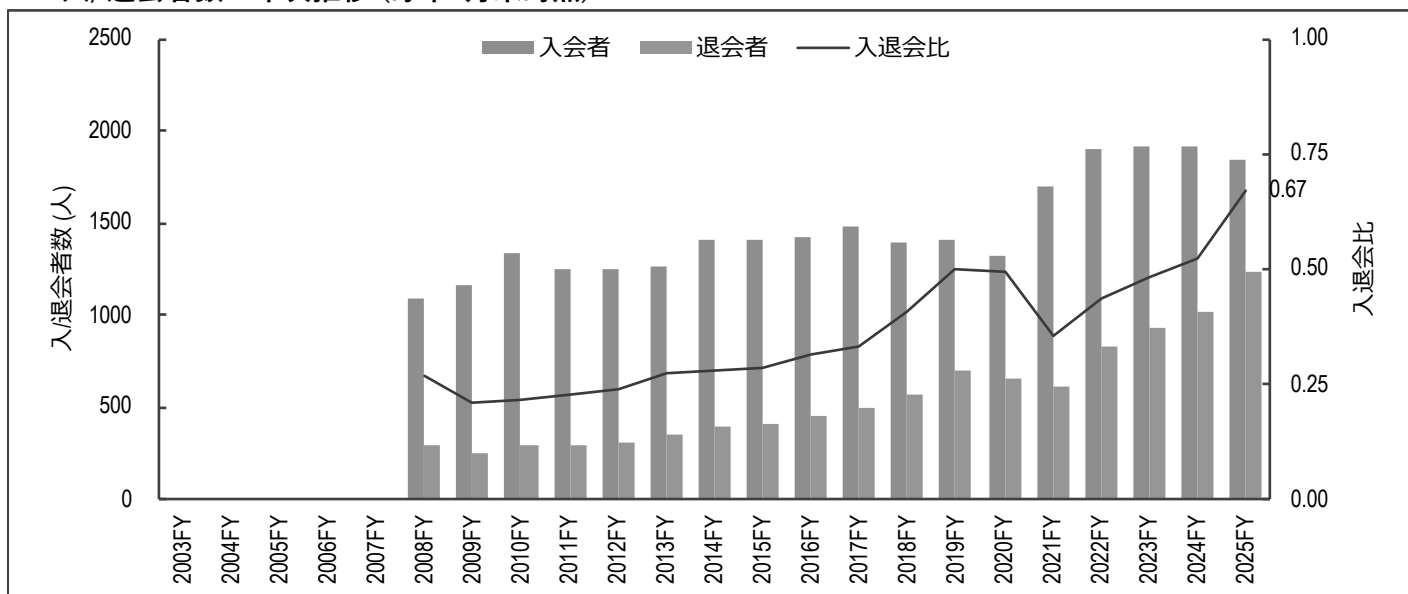
### 4. 正会員数の月次推移 ※4-2月：初旬、3月：末日



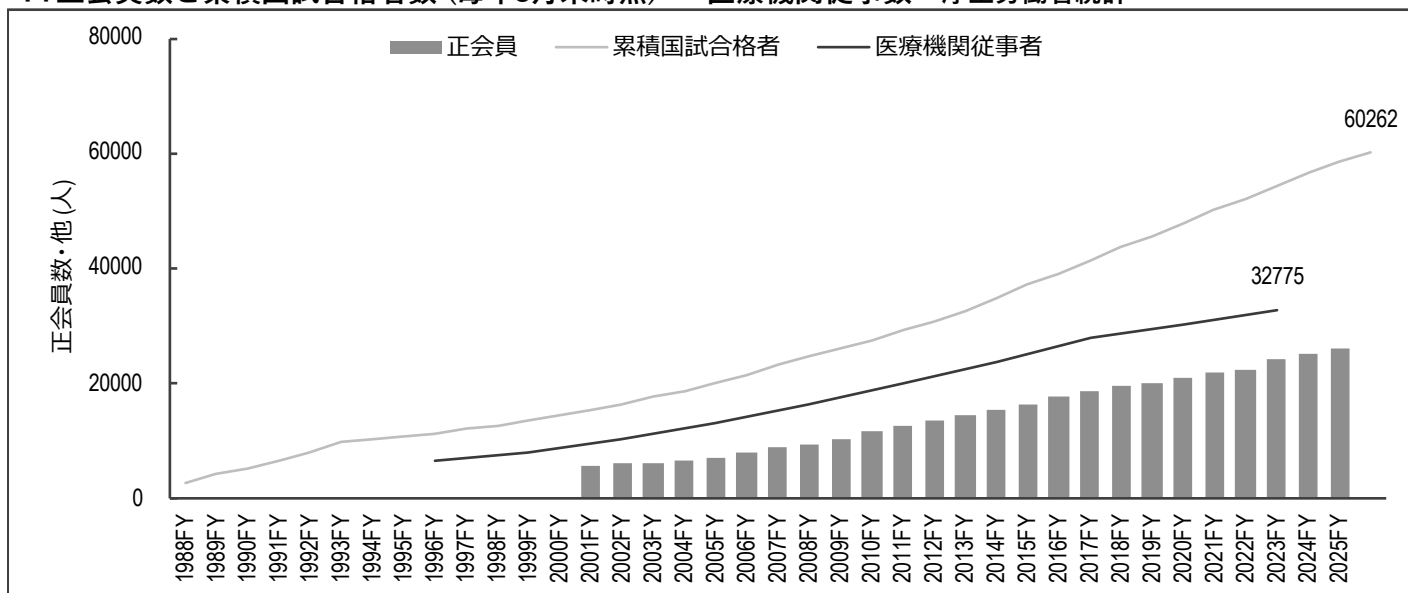
### 5. 正会員の年次推移 (毎年3月末時点)



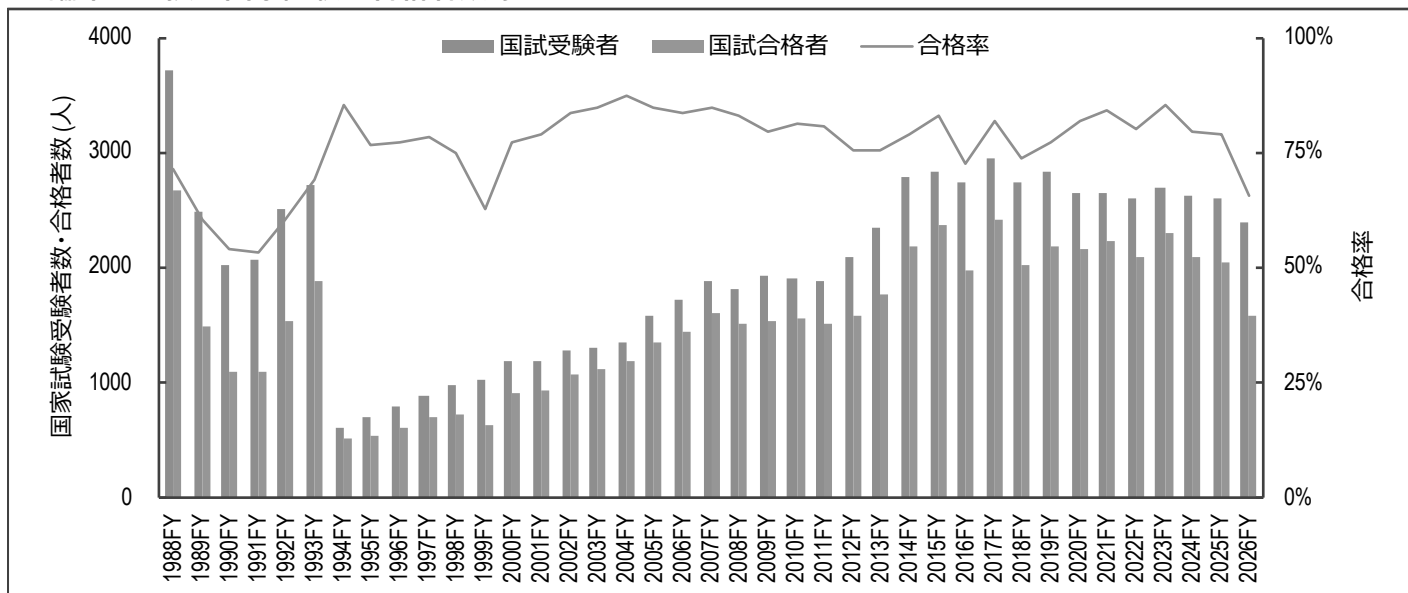
### 6. 入/退会者数の年次推移 (毎年3月末時点)



### 7. 正会員数と累積国試合格者数 (毎年3月末時点) \* 医療機関従事数：厚生労働省統計



### 8. 臨床工学技士国家試験の合格者数等



9. 日臨工会員の所属都道府県技士会 (2026年3月31日時点)

\* : 令和5年医療施設 (静態・動態) 調査

ブロック	技士会	男性	女性	総数	男性割合	女性割合	入会 手続き中	総計	医療機関 従事者*	
北海道 東北	北海道	740	169	909	81.4%	18.6%	14	923	1936.7	
	青森県	128	57	185	69.2%	30.8%	0	185	202.2	
	岩手県	160	60	220	72.7%	27.3%	0	220	206.8	
	宮城県	388	213	601	64.6%	35.4%	2	603	616.8	
	秋田県	154	39	193	79.8%	20.2%	1	194	181.3	
	山形県	195	91	286	68.2%	31.8%	1	287	245.6	
	福島県	302	141	443	68.2%	31.8%	3	446	545.7	
	茨城県	421	106	527	79.9%	20.1%	9	536	627.2	
関東 甲信越	栃木県	305	106	411	74.2%	25.8%	9	420	476.1	
	群馬県	259	96	355	73.0%	27.0%	2	357	456.2	
	埼玉県	932	398	1330	70.1%	29.9%	9	1339	1785.7	
	千葉県	862	357	1219	70.7%	29.3%	17	1236	1563.1	
	東京都	1625	829	2454	66.2%	33.8%	33	2487	3194.4	
	神奈川県	1079	548	1627	66.3%	33.7%	11	1638	1957.8	
	山梨県	152	41	193	78.8%	21.2%	0	193	185.3	
	長野県	389	120	509	76.4%	23.6%	2	511	588.8	
	新潟県	303	111	414	73.2%	26.8%	1	415	450.6	
	中部	静岡県	573	170	743	77.1%	22.9%	9	752	922.6
愛知県		1052	462	1514	69.5%	30.5%	10	1524	1762.1	
岐阜県		254	93	347	73.2%	26.8%	1	348	480.8	
三重県		304	77	381	79.8%	20.2%	0	381	437.4	
富山県		120	63	183	65.6%	34.4%	1	184	198.7	
石川県		138	79	217	63.6%	36.4%	2	219	231.3	
福井県		100	38	138	72.5%	27.5%	0	138	145.4	
滋賀県		231	73	304	76.0%	24.0%	4	308	317.7	
近畿	京都府	435	153	588	74.0%	26.0%	10	598	912.3	
	大阪府	1270	475	1745	72.8%	27.2%	27	1772	2302.9	
	兵庫県	761	293	1054	72.2%	27.8%	15	1069	1415.6	
	奈良県	215	56	271	79.3%	20.7%	2	273	384.6	
	和歌山県	123	32	155	79.4%	20.6%	1	156	188.5	
	鳥取県	115	32	147	78.2%	21.8%	0	147	138.0	
中四国	島根県	126	46	172	73.3%	26.7%	1	173	156.5	
	岡山県	432	192	624	69.2%	30.8%	5	629	676.7	
	広島県	501	210	711	70.5%	29.5%	4	715	939.6	
	山口県	193	60	253	76.3%	23.7%	6	259	324.1	
	徳島県	149	38	187	79.7%	20.3%	1	188	283.6	
	香川県	234	93	327	71.6%	28.4%	2	329	328.6	
	高知県	152	60	212	71.7%	28.3%	10	222	352.0	
	愛媛県	269	103	372	72.3%	27.7%	1	373	428.4	
	九州 沖縄	福岡県	725	300	1025	70.7%	29.3%	15	1040	1510.5
		佐賀県	106	34	140	75.7%	24.3%	4	144	183.4
長崎県		181	46	227	79.7%	20.3%	2	229	281.8	
熊本県		396	168	564	70.2%	29.8%	3	567	694.4	
大分県		299	93	392	76.3%	23.7%	7	399	418.9	
宮崎県		138	40	178	77.5%	22.5%	1	179	160.7	
鹿児島県		342	83	425	80.5%	19.5%	2	427	500.8	
沖縄県		322	88	410	78.5%	21.5%	2	412	476.4	